

親と子地域で見守る

西区子育て支援会議が主催する親子の遊び場「にしっこひろばもももこ」。あたたかな目で地域の親子を見守り続け、12年目を迎えました。区内3カ所の会場は今日も笑顔で溢れています。

幼い子とその親を地域の力で守るために

未就園児とその親が気軽に集まり、安心して遊べる「にしっこひろばもももこ」。現在、区内3カ所で定期的に開催しています。

主催するのは、西区子育て支援会議。区内の子育て支援に関わる機関や支援者を中心に作られた団体です。立ち上げメンバーであるあかつき保育園の山中健司園長に話を聞きました。

『もももこ』がスタートしたのは平成17年です。その頃、名古屋市内で小さい人が虐待される事件が起きていました。悲しい事件を防ぐため、未来ある小さい人を地域で見守らなければなりません。当時、すでに保育園連合会による子育て広場があったので、あかつき保育園と社会福祉

協議会、区役所と保健所が力を合わせ、西区子育て支援会議を立ち上げました。調査を進めると、1、2歳児が安心して遊べる場所が必要であると判明。未就園児とその親の遊び場を作ることになりました。この遊び場には大きな目的がありました。「虐待をしてしまう親というのは、1人きりで孤独な場合がほとんどです。親と子が1対1の関係では、不安な気持ちのやり場がなくなってしまう。できるだけお母さんの心が元気になるように遊びに来て、たくさん友達を作ってほしい。また、困った時に頼れる、社会福祉協議会などの機関を知ってもらおう狙いもありました」。

楽しみや出会いを「もももこ」と膨らませる

気になる「もももこ」という名前は、乳児に大人気の絵本『もももこもこ』から着想しました。「これは1、2歳児が喜ぶ、絵本の原点ともいえる本です。擬音と絵だけでできているので、想像力が膨らむでしょう。我々の活動も、膨らませていくのは参加している親子である、という思いを込めました」と山中園長は振り返ります。

第1回目の開催場所は西児童館でした。最初は、参画する各保育園と保健所が遊び道具を持

9月25日/10月2日・16日・23日/11月6日・13日・20日・27日/12月4日・11日・18日・25日/1月15日・22日/2月5日・19日・26日/3月5日・12日・19日

山田支所もももこ

開催日：毎週月曜日（第5週・祝日・選挙の翌等は除く）
会場：山田支所講堂
※公共交通機関をご利用ください



① ママ同士も自然と会話が弾みます。昨年度は35回開催され、6000人以上が利用しました。② ささまざまなおもちゃがあると、子どもは時間を忘れて遊びます。③ 大きな絵本の読み聞かせタイム。小さな子ども真剣に聞き入っています



子育てをもっと楽しく!



社会福祉法人 共育ちの会
あかつき保育園 園長
山中健司さん

あかつき保育園をはじめとする3つの園と児童養護施設を運営。あかつき保育園内でも「保育所子育て支援センター」を実施しています。NPO法人CAPNA（子どもの虐待防止ネットワーク・あい）理事も務めます。

あかつき保育園
名古屋西区上名古屋4-13-32

9月22日/10月6日・13日・20日・27日/11月10日・17日・24日/12月1日・8日・15日/1月12日・19日・26日/2月2日・9日・16日・23日/3月2日・9日

西児童館もももこ

開催日：毎週金曜日（第5週・祝日・市内小中学校の長期休暇期間等は除く）
会場：西児童館体育室・遊戯室
※駐車場はありません



枇杷島スポーツセンターもももこ

開催日：毎週水曜日（祝日等による変動あり）
会場：枇杷島スポーツセンター 第2競技場
※有料駐車場あり(300円)

9月27日/10月4日・11日・18日・25日/11月1日・8日・15日・22日/12月6日・13日/1月10日・17日・24日/2月7日・14日・21日・28日/3月7日・14日

① バランスボールで遊べる枇杷島スポーツセンター。競技場は広いので、子どもが走り回っても安心です。② 昨年度は41回開催され、7000人以上が利用しました。③ スポーツセンターの指導の下、バランスボールを使ったエクササイズを実施

① 車のおもちゃは大人気。順番を守って遊んでいます。② 他の2カ所と比べて狭いので、親子の距離が近くなります。③ 家でもできる、子どもと触れ合う遊びを実演。パネルを使ったおはなし会も人気です



ち寄り、来場した親子に楽しんでもらうことに。山中園長は「本物の楽器に触れてもらおう」と、自らギターを弾いて盛り上げました。ここで大切なのは親子の見守りです。遊び場で危険がないよう、指導員や子育て支援センター併設の保育園から保育士が出向き、立ち会います。その他に、「もももこ見守りボランティア」を募集し、年1回養成講座を開催。人数が増加し、毎回5から10人もの見守り役が付いて安心です。「小さい人だけでなく、親を見守るのも大切な役目です。ボランティアを一般の人から募集す

るのは、お母さんたちに地域の顔見知りを作ってほしいという意味もあるのです」と山中園長。「遊びに来るのもパワーが必要。その力がない時、近所に相談相手がいれば安心です」と話します。核家族や単身の親も増えた現代だからこそ、地域のつながりを大切にしています。現在、山田支所、枇杷島スポーツセンター、西児童館の3カ所で、曜日を変えて開催されている「もももこ」。安全な広場に、手作りの遊び道具などが用意されています。場所により100人近くが訪

れることもある人気ぶりです、それぞれ内容にも特徴があります。山田支所には、見守り役のスタッフが約10人在籍。大きな絵本の読み聞かせも毎回行います。また数カ月に一度、保健師による子どもの事故の救命処置の実演があり、いざという時の備えになると好評です。枇杷島スポーツセンターでは、ボールエクササイズやストレッチでリフレッシュが可能。親子で体を動かすと、気分もすっきりします。西児童館は、現役保育士による出し物が人気です。エプロンシアターやパネルシアターで、幼い子の心を掴んでいます。年に一度は利用者にアンケートを実施し、翌年の活動に生かしま

す。「気軽に安心して参加できる場所」「スタッフさんが子どもと遊んでくれるので、少しの間ママ同士でおしゃべりできる」「下の子を見てもらっている間、上の子とゆつくり遊べる」など、喜びの声が多く寄せられています。「昔は地域みんな子育てをしたものです。一緒に楽しいことをすると、気持ちがあがりやすいもの。『もももこ』で少しでも人と人とのつながりが深まればと思います」と山中園長は微笑みます。今後は情報発信にも力を入れようと考えています。また、利用者同士が自然と交流できるような催しも検討すること。今後の活動が楽しみです。